

2021年度教育研究活動報告書

所属	人文学部 人文学科	職名	教授	フリガナ 氏名	カト キョウ 金戸 清高	生年月	1958年11月
最終学歴	関西学院大学大学院文学研究科日本文学専攻 博士課程後期課程満期退学			学位	文学修士	専門分野	日本文学
担当科目	保育内容（言葉）、保育実習指導Ⅲ、保育実習Ⅲ、子育て支援、家庭支援論、チャイルドケアゼミ、国語（幼）、国語（小）、国語科教育法、キリスト教保育、保育実践演習、教育実践演習、キリスト教と文学、日本語文章表現法Ⅰ、特別研究、卒業研究、フレッシュマンゼミ						
所属学会	日本近代文学会、日本文芸学会、山口大学人文学部国語国文学会						
Ⅰ 教育活動							
教育実践上の主な業績				年月日		概要	
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）				2011年年4月～ 2018年4月～		教科に関する科目としての「国語（幼）」を、小学校課程履修者とは別に、学生が幼稚園教育要領に定められた領域「言葉」の内容を十分理解できるように配慮しながら幼小の接続を視野に入れた授業を展開し、今回の「領域に冠する科目」への移行に備えている。 再課程認定に伴い「保育内容（言葉）」の授業を新幼稚園教育要領の内容が十分に理解させるため、30名のクラスを2つに分け、学生へのきめ細かい指導を継続している。	
2 作成した教科書、教材、参考書				2020年4月～		新型コロナウイルス感染症蔓延にともなう大学授業の遠隔化に対応した担当科目のすべてをスライド化または動画化した。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				2016年4月～		生涯学習委員長（～平成30年） 学内研究倫理審査委員行（令和元年～）教育・研究の充実・発展に貢献している。学生による授業評価も高い。	
4 その他教育活動上特記すべき事項				2011年2月		第55回熊本県保育研究大会分科会「保育所保育指針に基づく質の高い保育を提供する」助言	
Ⅱ 研究活動							
著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は発表の 年月日	発行所又は発表雑誌等の 名称（巻・号数を含む）	編者・著者名（共著 の場合のみ記入）	該当ページ数		

1 著書					
2 論文					
幼児と言葉に関する 詩論(1)	単著	2019年12月	紀要 VISI049		43-50
幼児と言葉に関する 試論(2)－「絵本や物 語」等児童文化財を用 いた保育の意義－	単著	2020年12月	紀要VISI050		19-27
新「幼稚園教育要 領」に基づく保育内容 (言葉)の指導法に関 する試論－1999年版 「保育所保育指針」を 子どもの発達理解の手 がかりとして－	単著	2022年3月	心理・教育・福祉研究 22(2)		95-103
小学校国語科教育の 今日的課題(1) －新学習指導要領に あらわれたメディア・ リテラシーへの対応に ついて－	単著	2021年8月	紀要 VISI051		19-27
小学校国語科教育に おける「我が国の言語 文化に関する事項」の 意義－「伝統的な言語 文化と国語の特質に関 する事項」からの移行 －	単著	2021年12月	紀要 VISI052		17-28
九州ルーテル学院 「建学の精神」考－ 「『建学の精神』検討 委員会」の活動報告結 果として－	共著	2020年12月	紀要 VISI050	金戸清高・内村 公春・栗原希代 子・崔大凡	1-17(8)
癒しとしての文学・ 管見(口頭発表)	単著	2019年5月12日	山口大学人文学部国語 国文学会(於山口大学)		
熊本と近代文学(公 開シンポジウム司会・ 発題)(口頭発表)	単著	2019年6月29日	日本文芸学会第56回 大会(於九州ルーテル学 院大学)		
3 その他					

書評：奥山文幸「渦動 と空明-日本近代文学 管見」	単著	2019年3月	近代文学論集 45（日 本近代文学会九州支部）		
Ⅲ 社会的活動					
年月日	委員、講演テーマ・研修会、賞・表彰等の名称			所属、委託団体、授与機 関等の名称	
1 職務専念義務免除による活動 2013年6月～現在 2015年5月～現在 2017年4月1日	委員 理事 評議員			山口大学人文学部国語 国文学会 日本文芸学会 社会福祉法人地の塩福 祉会	
2 公開講座、講演、研究会活動 2017年9月 2018年10～12月 2019年10月～12月	あまり知られていない夏目漱石 宮沢賢治の童話を読む（3回開催） 夏目漱石「こころ」を読む（3回開催）			九州ルーテル学院大学	
3 社会的表彰					